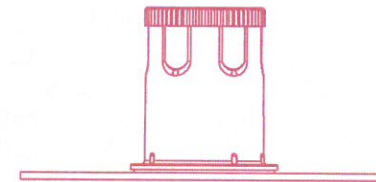




Salta[®]

Sensor Add-on Lead to Act.



User's Manual



後付けIoTセンサユニットSalta[®]
取扱説明書



Salta[®]

Sensor Add-on Lead to Act.



〒551-0021 大阪府大阪市大正区南恩加島5-8-6
TEL (06) 6552-0545(代) FAX (06) 6551-1588
<https://www.kobata.co.jp>

特設ポータルサイトはこちら





後付けIoTセンサユニットSalta[®] 設置方法



salta[®]

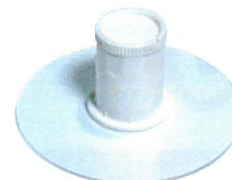
Sensor Add-on Lead to Act.

Sensor Add-on Lead to Act.

概要

本書は後付けIoTセンサユニットSalta[®]の設置方法及び設置計器の指針がゼロにない場合の調整方法を記載した取扱説明書です。

同梱物



後付けIoTセンサユニットSalta[®]



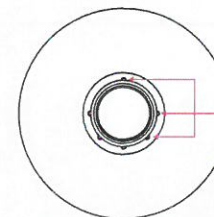
ボタン電池 CR2032



指針用磁石



磁石用シール
(予備有り)



Salta本体の取り付けの際は突起部の上下位置関係をご確認ください。

注意

円形のガラス板を外して、Saltaと交換するため、円形のガラス板を外すことができない計器(グリセリン入り計器、かきめタイプ計器など)はアッセンブリでの販売になりますのでご相談ください。
また、指針の軸のところに磁石を装着するため、電流計や微差圧計などには使用できません。

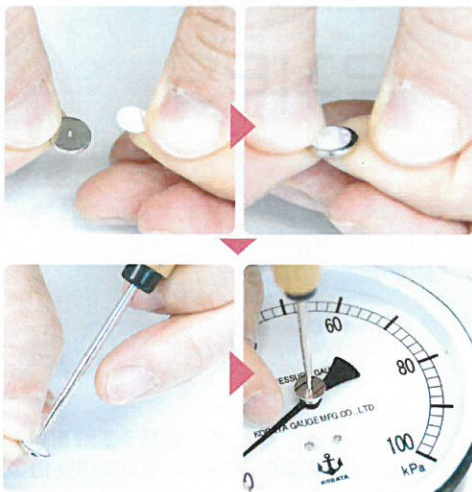
通信I/F

- BLE (Bluetooth 4.2) 通信距離は見通し10m程度
- 送信間隔60秒周期
- 取りこぼし対策 0.1秒間隔で同じデータを10回送る

送信周期はフラッシュメモリに記憶され、計器からの送信周期は、工場出荷時の設定となります。

Salta[®] 取付方法

圧力計から外枠と円形ガラス板を取り外します。

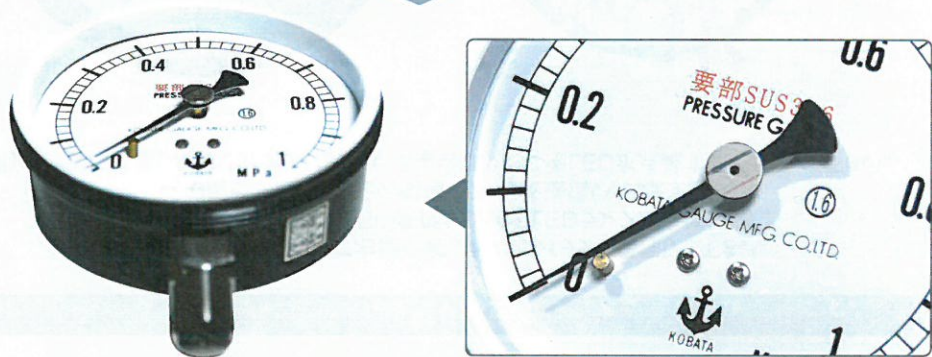
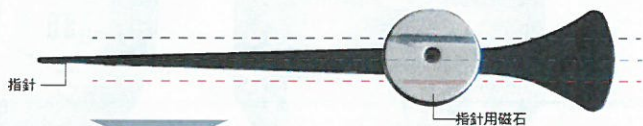


上図のように、指針用磁石と同梱の両面テープを中心に貼り付け、千枚通しなどで中心をテープ側から穴を開けておきます。

指針の軸の中心に磁石の中心が合うようにしてください。磁石に穴があるので、軸の中心と合わせやすくなっています。
※千枚通しなどで中心軸を揃えてください。

⚠ 中心軸からずれると精度に影響致します

右の図のように指針を黒い線と赤い線が水平に挟み込むように取り付けてください。



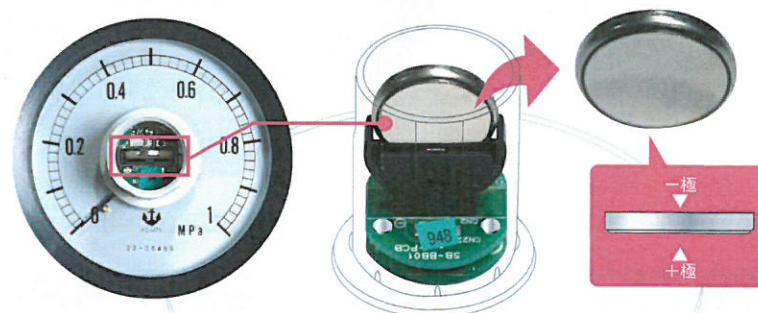
指針に対して磁石黒い線と赤い線が平行に保たれている位置関係が変わらないように接着して下さい。



948 (数字位置要確認)

外した透明円板の代わりに後付けIoTセンサユニットSalta[®]を取り付けます。上記右図の向きのように赤い囲み部分(図では948)が書かれている位置が下になるようにしてください。

電池が切れた場合は、新品の電池と交換してください。



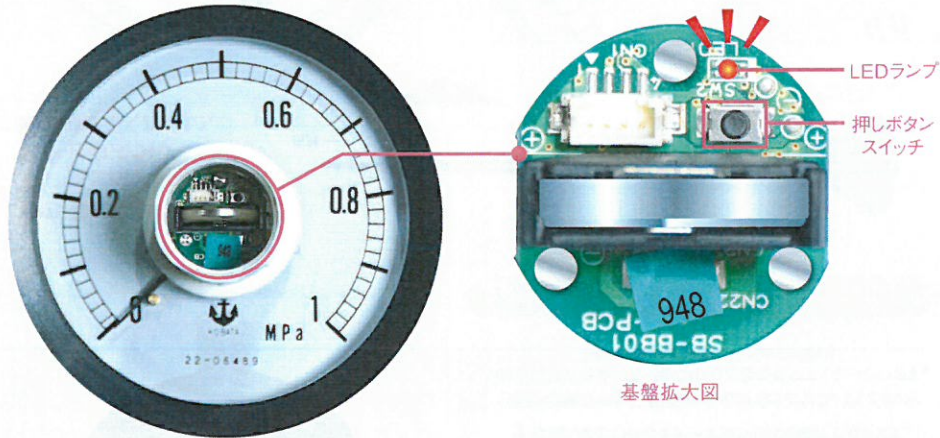
交換する場合は上図を参考に+極(平たい面)が上に装着するように注意してください。

0調整の仕方

針が0をさしている状態で右図の押しボタンスイッチを長押しして下さい。
このボタンを押した時、磁石の角度が0となりLEDランプが点滅します。

0調整が終わると元の間隔でデータを送信いたします。

別の計器に装着した時で針が0を指している場合は、ボタンをLEDが点滅するまで押して下さい。



針が0を指していない計器に装着したい場合は、前述の磁石のつけ方やSalta®のつけ方を行うことで、あらかじめ出荷時に調整してある値を利用して再度調整を省略することが出来ます。

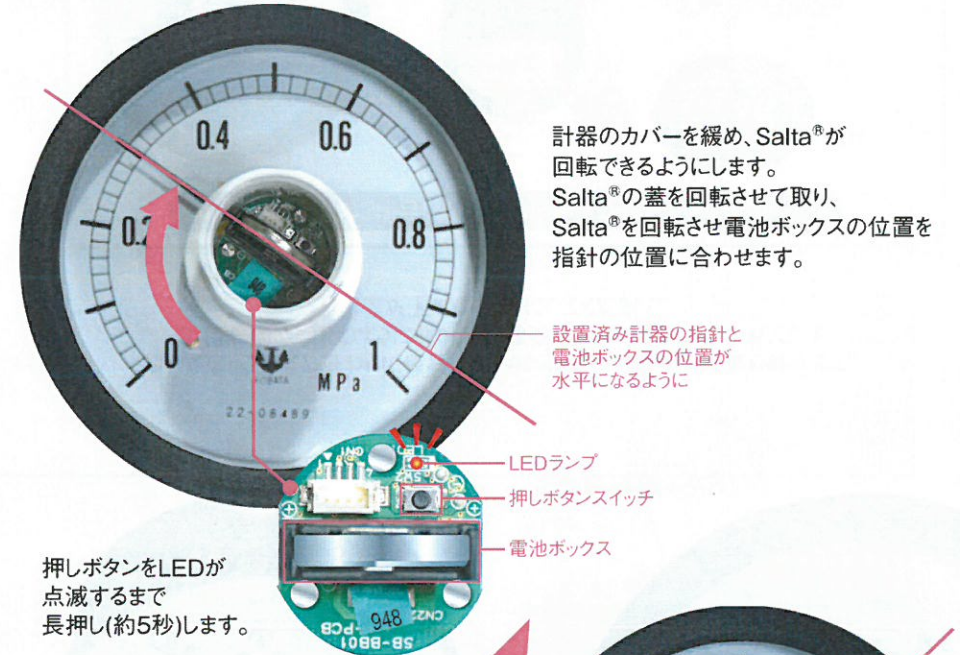


salta®

Sensor Add-on Lead to Act.

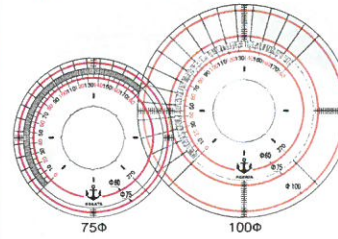
設置計器の指針がゼロでない場合の調整方法

Salta®のゼロ調整方法(設置計器の指針がゼロでない場合)

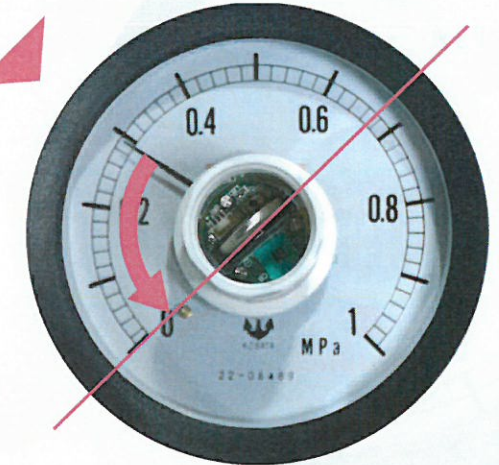


Salta®専用分度器(別売り)

Salta®専用分度器をご用意しておりますので、正確な角度を測りたい場合はご利用ください。



Salta®専用分度器は100φと75φをご用意しております。



Salta®を反時計方向に回転させ、電池ボックスを計器の最小値に合わせます。カバーを閉じてSalta®が回転しないように固定すると完了です。